

保護者の皆さまへ

令和元年度 府立西寝屋川高等学校 学校教育自己診断の結果

校長 清水 智

保護者の皆さまには、本校の教育活動について、日頃より多くのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

令和元年度学校教育自己診断アンケートの結果について、報告いたします。

アンケートは、各設問4段階評価、上位2段階が肯定的な評価となります。

### 【全般】

本年度の学校教育自己診断の結果について、昨年度よりも肯定率が向上した設問は、生徒—23項目中13項目、保護者—21項目中11項目、教員—25項目中5項目でした。

肯定率が5%以上上昇した設問項目は、

- ・生徒—「学校行事は楽しく行えるよう工夫されている」(80.8%から86.8%)
- ・保護者—「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」(76.9%から82.4%)、「子どもは、部活動に熱心に取り組んでいる」(40.8%から50%)、「先生はすべての教育活動において、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている」(75.9%から81.7%)、「この学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」(55.6%から61.2%)
- ・教員—「生命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」(78.3%から84.9%)

保護者の方々からは、高い評価をいただいております。今後とも家庭との連携を深めながら本校の教育活動を進めていきたいと考えております。

### 【学習指導等】

「学校に行くのが楽しい」(79%)、「先生は生徒の話をよく聞いてくれる」(78.8%)、「先生は、自分が努力したことを認めてくれる」(82.8%)といずれも高い評価を得ています。

「授業は分かりやすく楽しい」は、昨年度よりも1.2%低い62.3%となってしまいましたが、各教員は授業改善に向けて取り組んでおり、「授業アンケート」では昨年度よりも授業満足度は高い評価を得ています。

タブレットパソコン、プロジェクター等のICT機器が不足している点や教室の環境整備が不十分な部分もあり、今後は施設設備の充実も含めて「わかりやすく楽しい授業」に取り組んでいきたいと考えております。

図書室利用については、昨年度よりも3.5%減少し、47.9%となっています。読書習慣、読解力・学力の向上には、授業と家庭学習、部活動、アルバイト等の関連など個々の生徒状況を考慮した細かな指導・対策が必要であると考えています。

### 【進路指導】

「将来の進路や生き方について考える機会がある」(86.8%)、「学校は進路についての情報を知らせてくれる」(83.5%)と、昨年度よりそれぞれ3.1%、4.6%減少しました。令和2年度からは、「キャリア・パスポート」を用いた進路指導が小・中・高で開始されます。「キャリア教育の充実」をさらに進めたいと考えております。

### 【生徒指導等】

今年度の遅刻回数は、12月現在で2955件、昨年度の同時期よりも減少しています。特に1、2年生の遅刻数は減少しており、次年度はさらに遅刻者数の減少に取り組むと考えています。

「生活規律や学習規律などの生活習慣の確立に力を入れている」(76.5%)、「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」(80.9%)、「挨拶は自分から進んで行うよう心掛けている」(71.3%)、「生徒指導の方針に共感できる(保護者)」(80.8%)と高い結果となっています。

保護者の皆さまとの理解と連携を深め、進めたいと考えています。

本校教職員は、様々な場面で相互の連携を図りながら「チーム西寝屋川」として、日々生徒の指導に取り組んでおります。今回のアンケート結果を踏まえ、教職員一同、本校教育の一層の充実に努めてまいりますので、今後ともご理解ご協力をお願い申し上げます。